

Case : 111

リフトでの入浴中、利用者の身体が浮き、頭部が沈みそうになる

場面の説明

入浴リフトで利用者が浴槽に入っていたところ、身体が浮いて座位姿勢が崩れ、頭部が沈みそうになってしまった



利用シーン	 入浴
主な利用場所	 浴室・脱衣所
介護保険の種目	 移動用リフト（つり具の部分を除く）
分類コード (CCTA95)	123618 (据置型リフト)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

お湯の中では、浮力の影響により姿勢が保持しにくくなります。特に大型の浴槽では、臀部が前にずれ頭部が沈みそうになりますので、介助者は利用者の姿勢を見ながらリフトの操作をしなければなりません。場合によってはベルトの着用も検討すべきでしょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：浮力で姿勢が保持しにくかった
- 人：利用者から目を離していた
- 環境：浴槽が大きくて足の踏ん張りがきかなかった
- 管理：このような危険があることの教育をしていなかった